

各輸送区分別の評価結果

◆対象事業者：省エネ法上の特定輸送事業者

（トラック200台、鉄道300両等の基準以上の輸送能力を有する事業者）

◆評価項目：平成18～29年度の定期報告書に記載された、「エネルギー消費原単位※¹」「5年度間平均原単位変化※²」「改善目標を達成出来なかった理由」等

※¹ 輸送量（貨物）又は輸送距離（旅客）当たりのエネルギー使用量

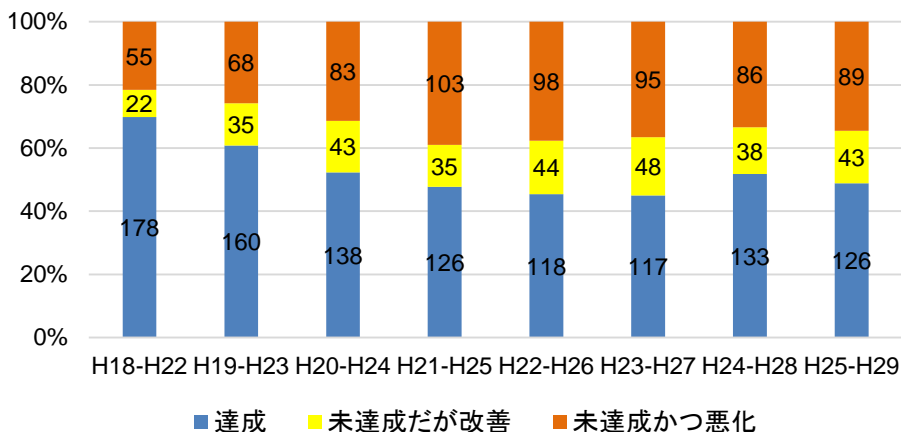
※² 過去5年度間のエネルギー消費原単位の変化割合を表すもの。5年度間で年平均1%以上削減することが改善目標となっている。

なお、平均値から極端に外れるエネルギー消費原単位については評価対象から除外。

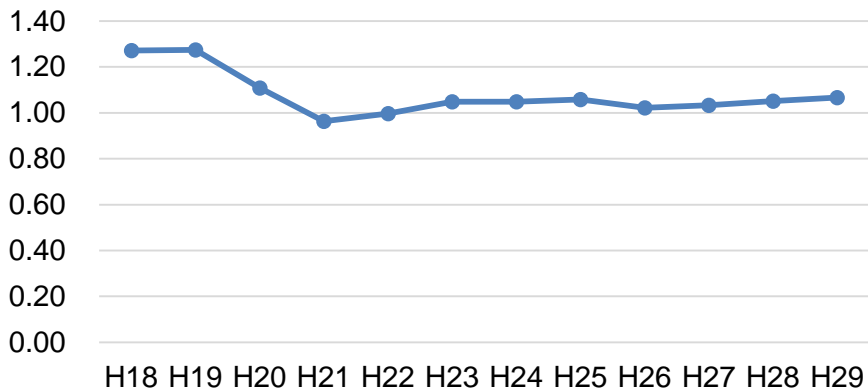
評価結果(事業用トラック)

- 改善目標を達成した事業者の割合は、制度開始当初は高かったものの、近年は停滞傾向。
- 改善目標を達成出来なかった主な理由は、「貨物量の減少」「業務量の増加による増車、走行距離の増加、車両の大型化等」「天候の影響」等となっている。
- 事業者全体の平均のエネルギー消費原単位は、一時的に改善した時期はあるものの、近年は停滞傾向。

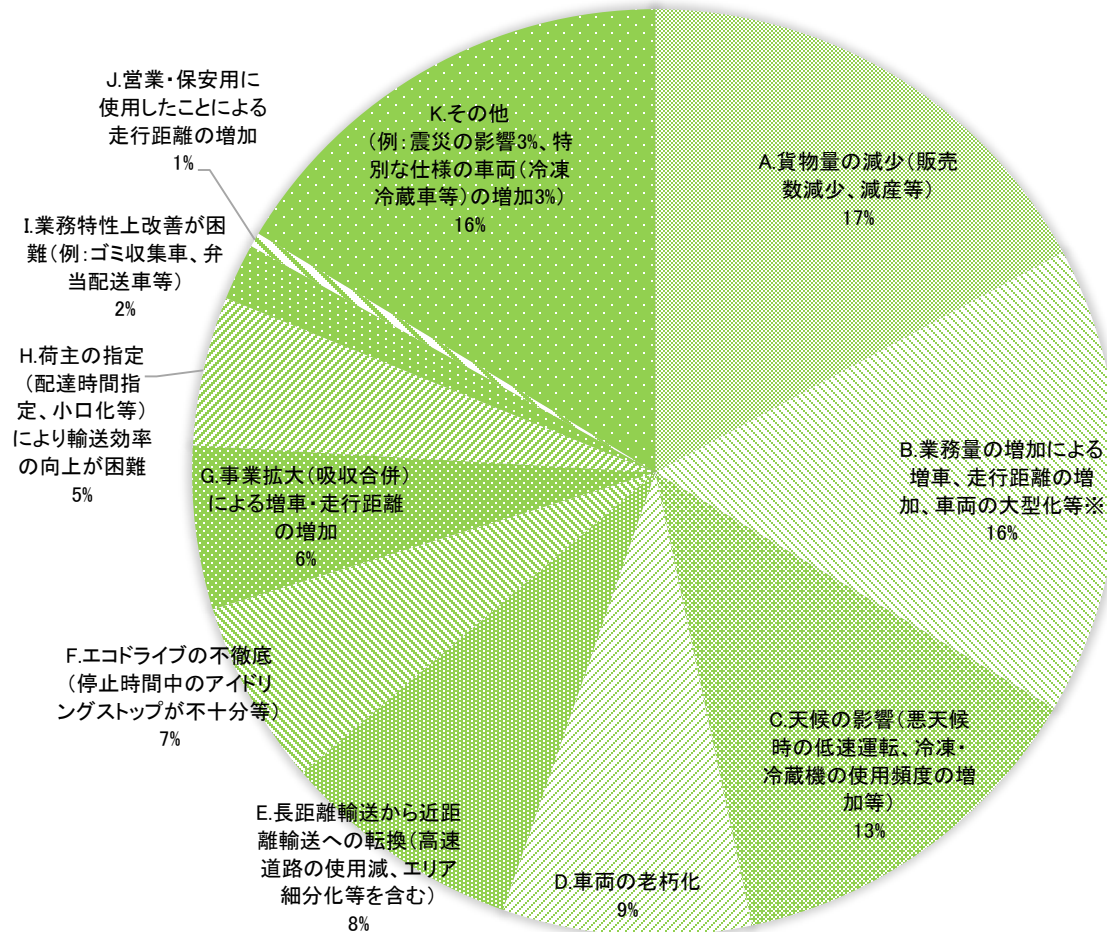
改善目標を達成した事業用トラック事業者の割合



原単位平均値(営業用トラック)



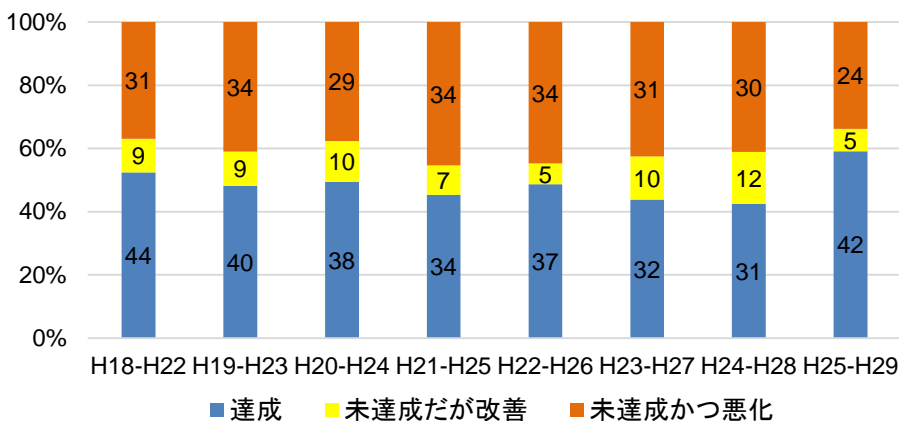
改善目標が達成出来なかった理由



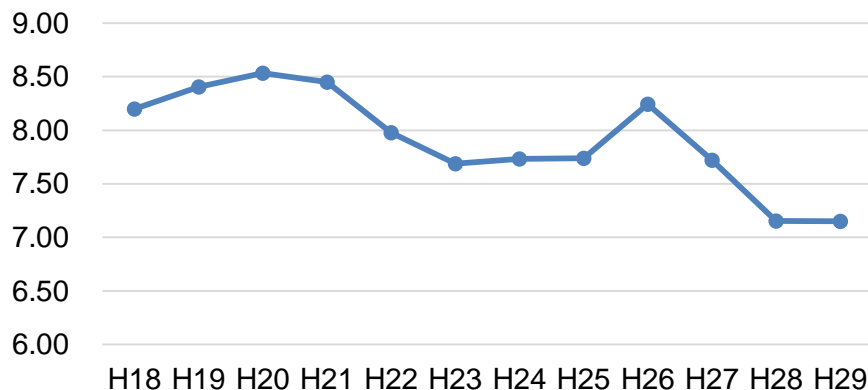
※配送エリア拡大、納品店の分散化等により、配送効率が悪化したことが要因と想定される。

- 改善目標を達成した事業者の割合は、制度開始以降減少・停滞傾向にあったが、直近の報告では大幅に増加している。
- 改善目標を達成出来なかった主な理由は、「貨物量の減少」「業務量の増加による増車、走行距離の増加、車両の大型化等」「車両の老朽化」等となっている。
- 事業者全体の平均のエネルギー消費原単位は、一時的に悪化した時期はあるものの、概ね減少傾向にあり、事業者の努力による省エネが進展していることが見受けられる。

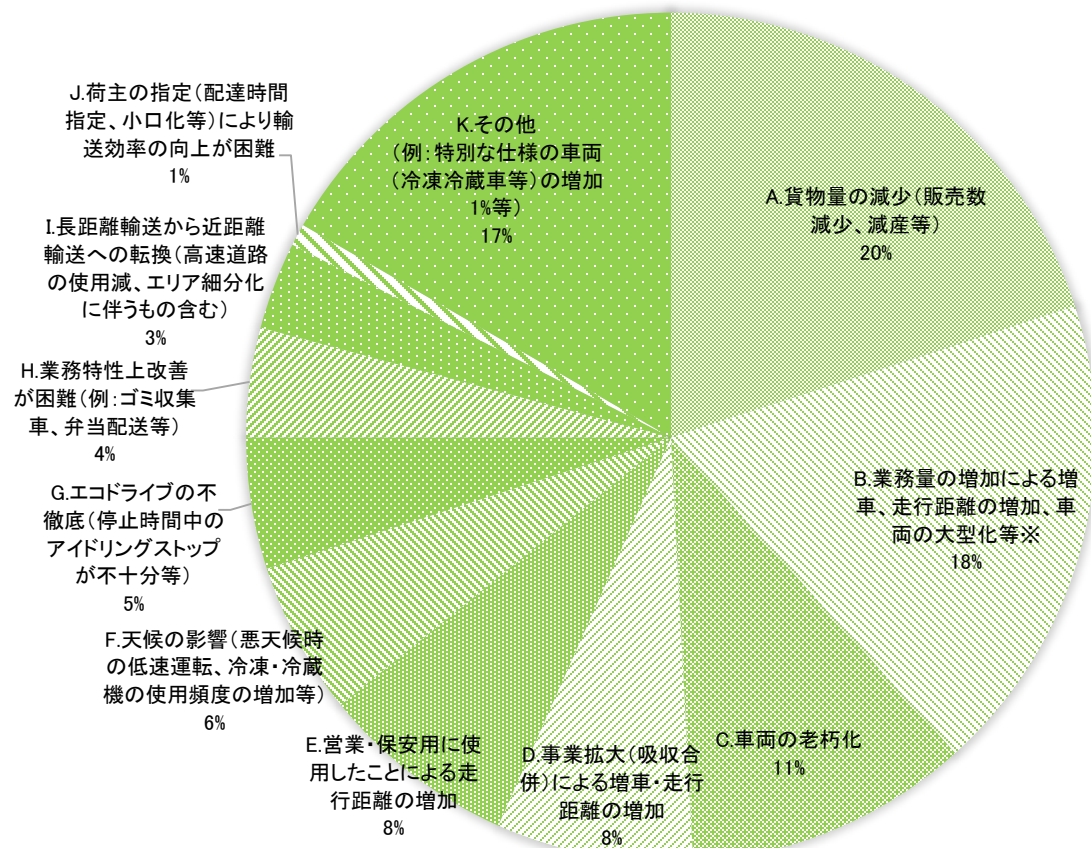
改善目標を達成した自家用トラック事業者の割合



原単位平均値(自家用トラック)



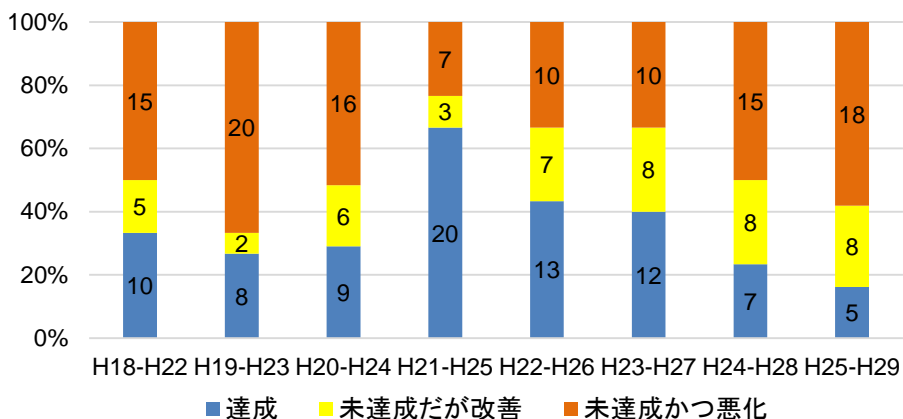
改善目標が達成出来なかった理由



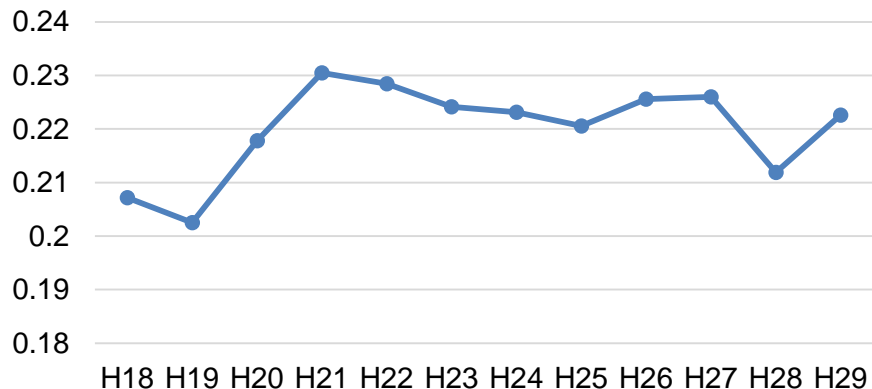
※配送エリア拡大、納品店の分散化等により、配送効率が悪化したことが要因と想定される。

- 改善目標を達成した事業者の割合は、一時的に高くなったものの、近年は減少傾向。
- 原単位を改善出来なかった主な理由は、「空船回航(バラスト航海)の増加、貨物取扱量の減少」「長距離航行の減少、短距離航行の増加」等となっている。
- 事業者全体の平均のエネルギー消費原単位は、制度開始当初は悪化傾向であったものの、近年はゆるやかに改善している。

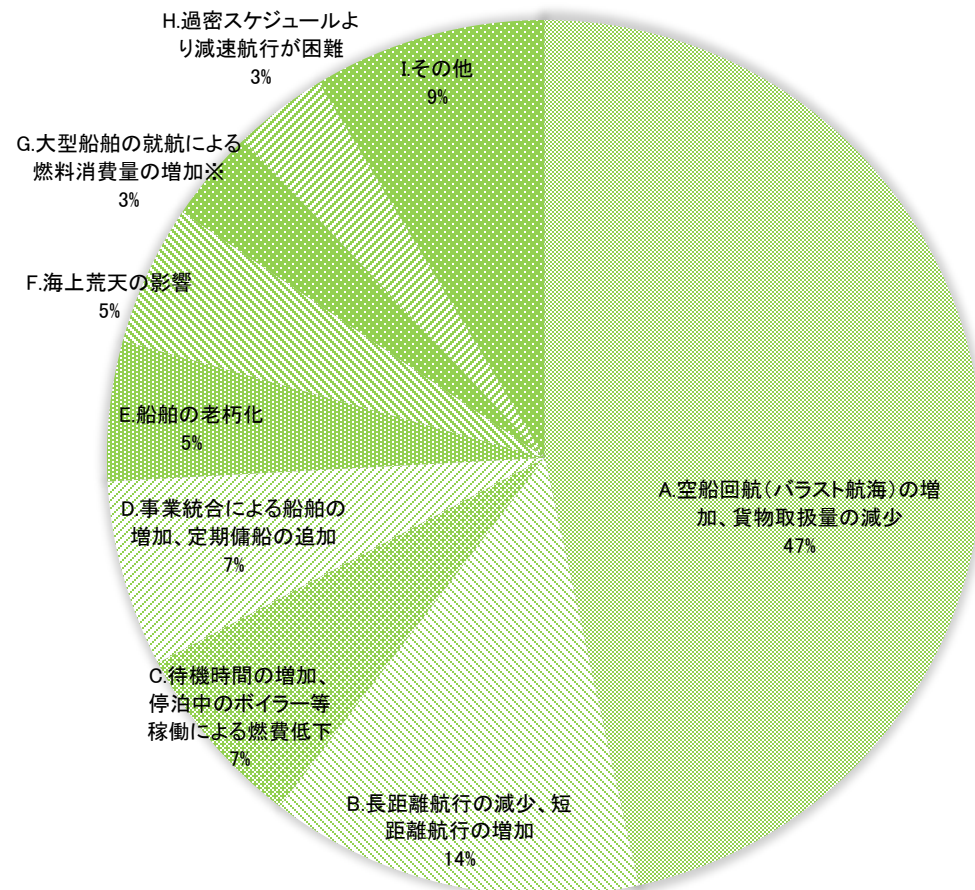
改善目標を達成した貨物船舶事業者の割合



エネルギー消費原単位



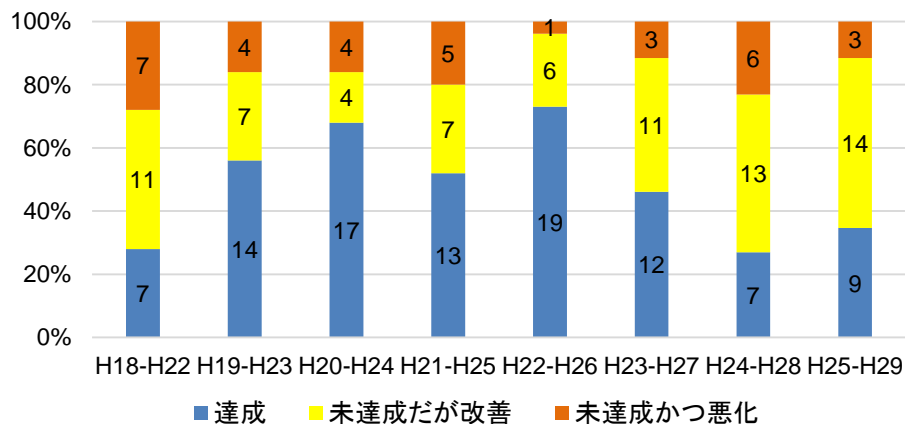
改善目標が達成出来なかった理由



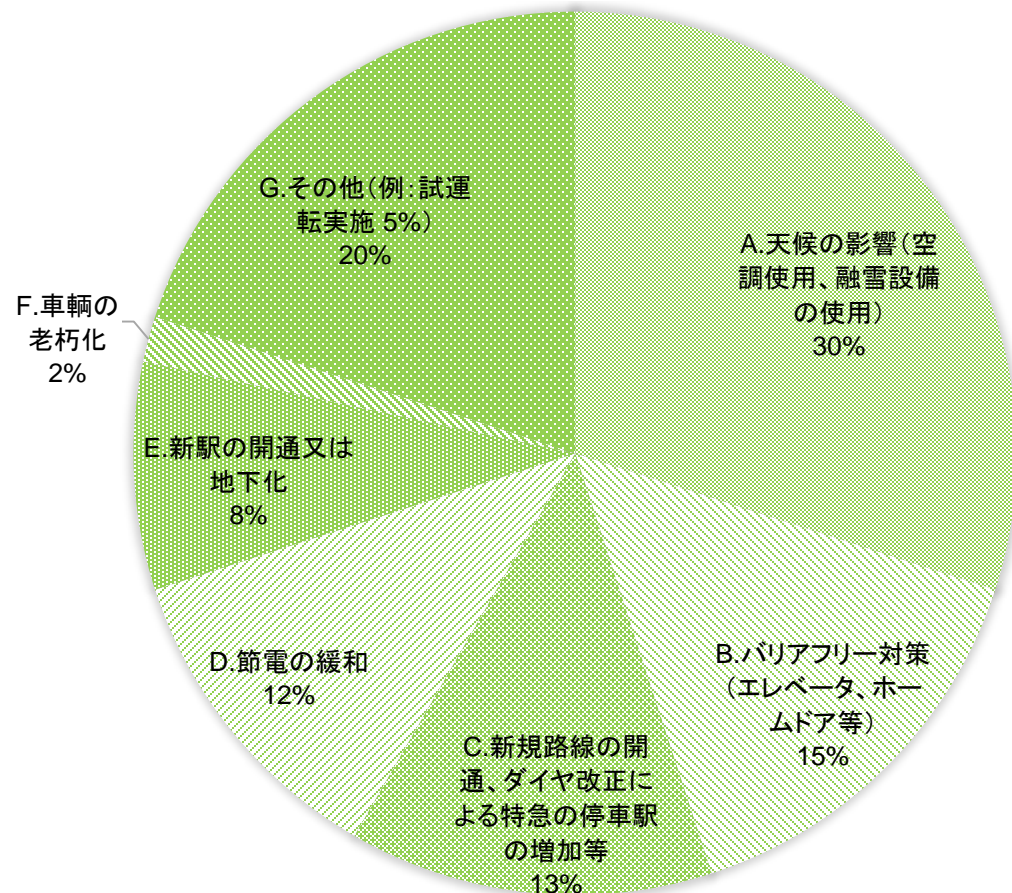
※積載率が悪化したことが要因と想定される。

- 改善目標を達成した事業者の割合は、制度開始当初は増加したものの、近年は減少・停滞傾向。
- 改善目標を達成出来なかった理由は、「天候の影響（空調使用、融雪設備の使用）」が最多となっている。
- 事業者全体の平均のエネルギー消費原単位は、制度開始以降改善傾向にあり、事業者の努力による省エネが進展していることが見受けられる。

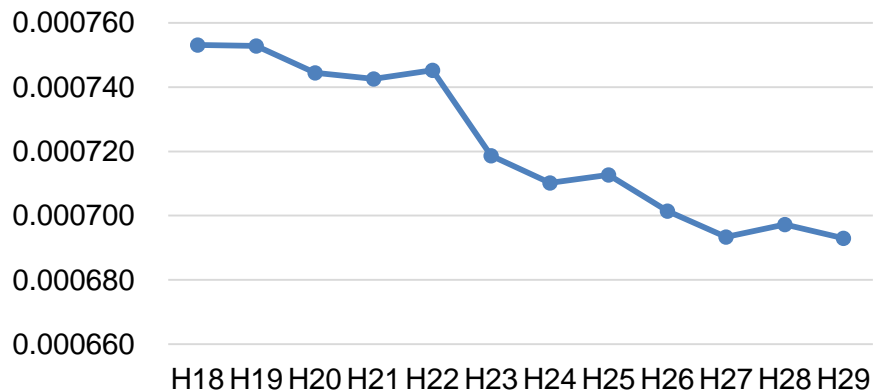
改善目標を達成した旅客鉄道事業者の割合



改善目標が達成出来なかった理由

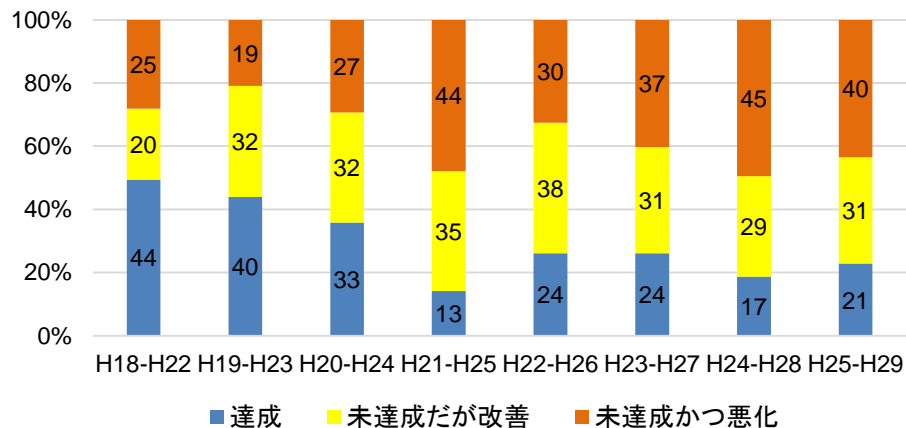


エネルギー消費原単位

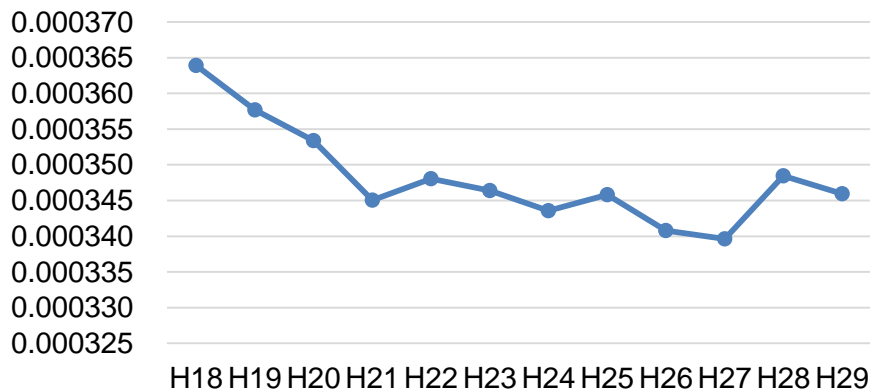


- 改善目標を達成した事業者の割合は、制度開始当初は比較的高かったものの、近年は減少・停滞傾向。
- 改善目標を達成出来なかった主な理由は、「天候の影響」「車両の老朽化」「走行距離の増加」等となっている。
- 事業者全体の平均のエネルギー消費原単位は、制度開始以降改善傾向にあり、事業者の努力による省エネが進展していることが見受けられる。

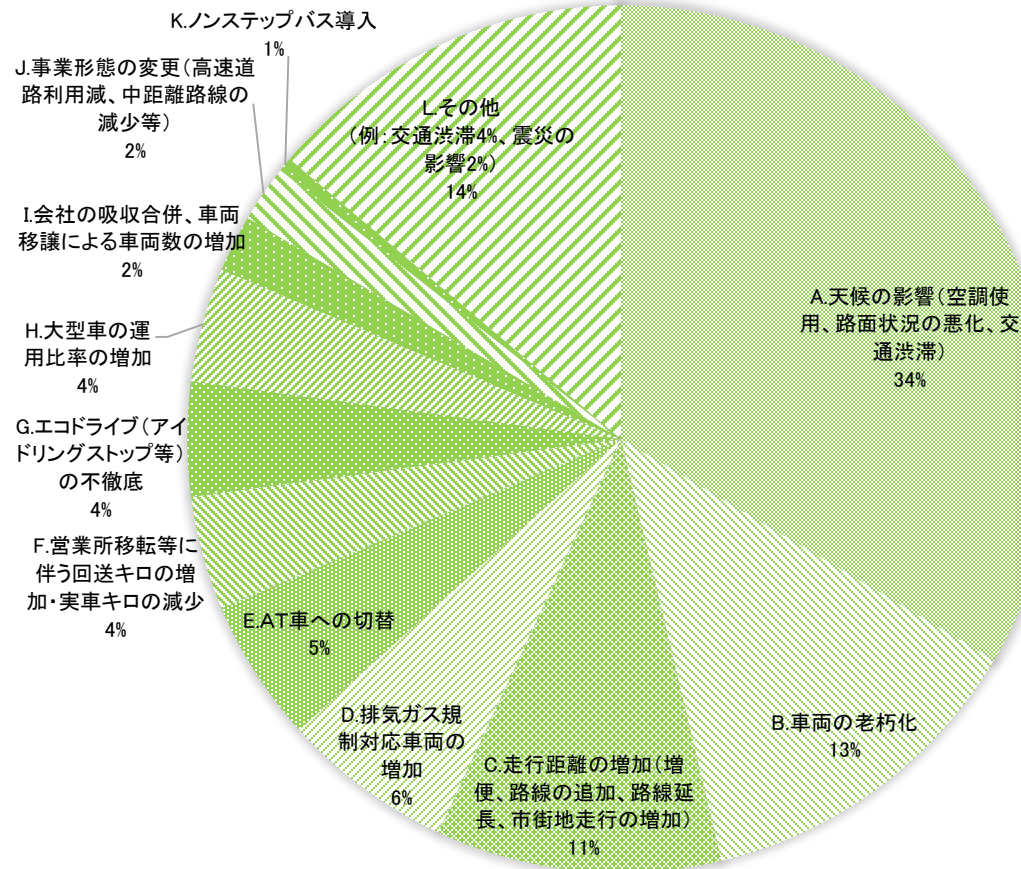
改善目標を達成したバス事業者の割合



エネルギー消費原単位

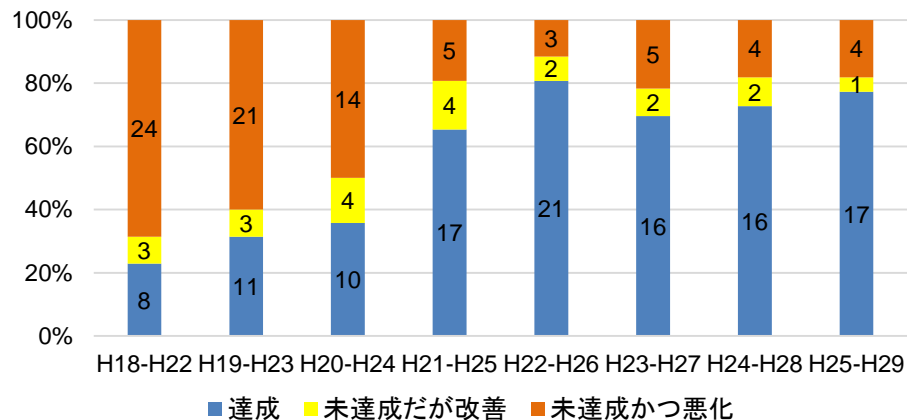


改善目標が達成出来なかった理由

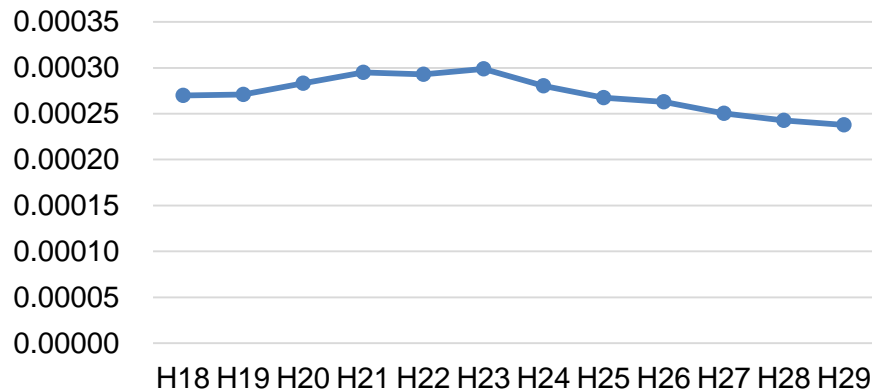


- 改善目標を達成した事業者の割合は、高水準を維持したまま増加傾向となっている。
- 改善目標を達成出来なかった主な理由は、「実車率減」「車両の老朽化」「アイドリングストップ等の不徹底」等となっている。
- 事業者全体の平均のエネルギー消費原単位は、一時的に悪化した時期はあるものの、近年は改善傾向にあり、事業者の努力による省エネが進展していることが見受けられる。

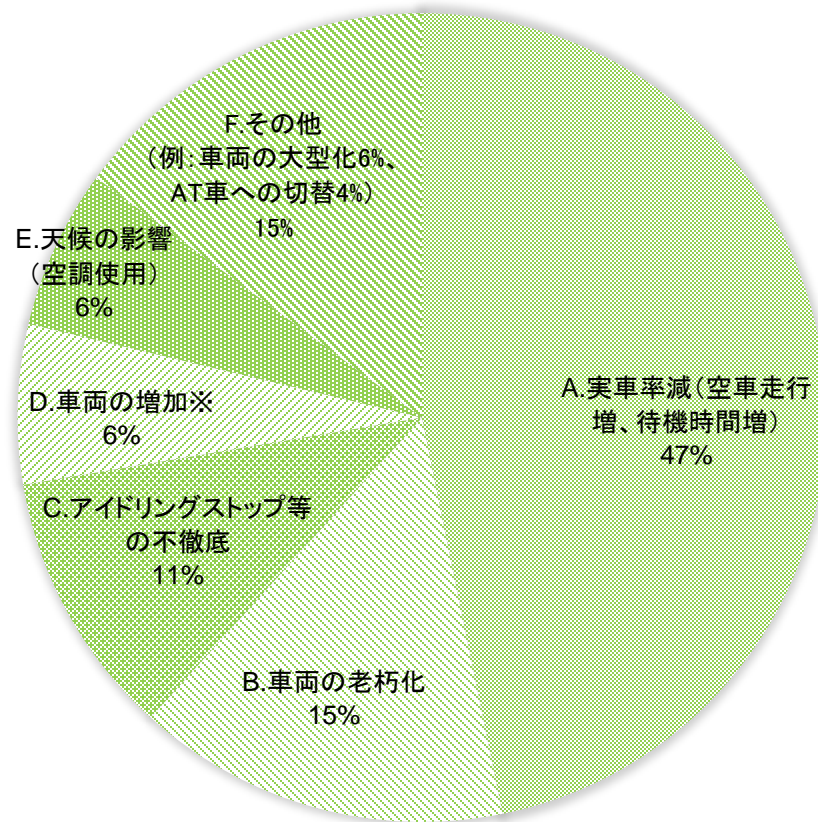
改善目標を達成したタクシー事業者の割合



エネルギー消費原単位



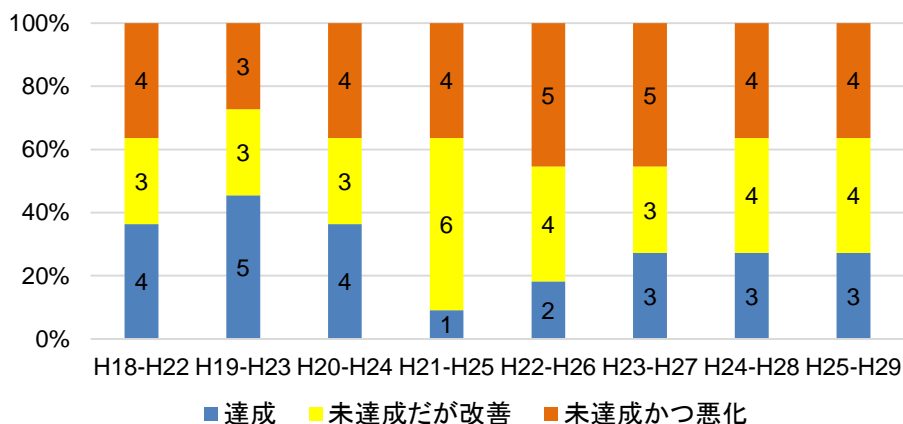
改善目標が達成出来なかった理由



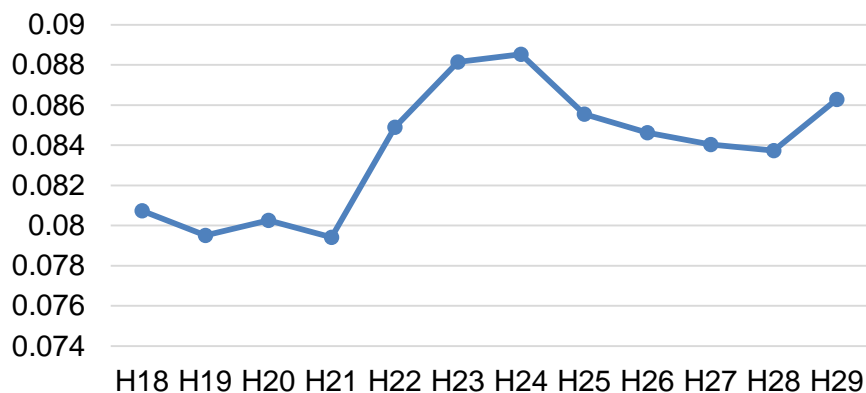
※実車率の減少につながったと思われる。

- 改善目標を達成した事業者の割合は、一時期より高くなっているものの、近年は停滞傾向。
- 改善目標を達成出来なかった主な理由は、「海上天候の影響」「船舶の老朽化」「積載貨物の増加」等となっている。
- 事業者全体の平均のエネルギー消費原単位は、一時的に悪化した時期はあるものの、近年は改善傾向にあり、事業者の努力による省エネが進展していることが見受けられる。

改善目標を達成した旅客船舶事業者の割合



エネルギー消費原単位



改善目標が達成出来なかった理由

